



① 新しい電車が目の前にきた。

⑩ 午後、父は南の市場で肉を手に入れた。

② これから直線と点をかいていこうと思ひます。

⑩ 三才の妹は、友だちと外で体を元気にうごかす。

③ ある夜、広い大地で黄色に光る星を見た。

⑩ 親は多くのことを知っている。

④ 先生は「自由な考えを出そう」とやさしい顔で言った。

⑩ 明け方、弟は計算の答えを直した。

⑤ 国語と理科と社会がすき。

⑩ 毎週木曜日になると鳥の鳴き声が聞こえる。

⑥ 東京で、刀と一万本の弓矢を買った。

⑩ これは春夏秋冬いつでも心がやすらぐ。

⑦ 首かぎりのボタンをおすと時間を止められる。

⑩ 先生が、「丸い石だけを数える活どうをしよう。」と、言った。

⑧ 姉は汽車にのって北海道に行き、魚を食べた。

⑩ 図画工作をしてから昼ねをしよう。

⑨ あなたに用があつて船にのり、ここまで来た。

⑩ ある晴れた日、原っぱで三頭の馬が走っている。

⑩ 一から五組合同で交通ルールの話をしよう。

⑩ 雪のふる朝、店内のお茶が高く売れた。

⑪ へんな形の台を何回もたたく。

⑩ 先生が、「今から、少し弱い風がふく。」と、教えてくれた。

⑫ 西の門の戸を引くと、そこは音楽室だった。

⑩ 公園で黒い毛の牛が歩き野草をかんでいる。

⑬ 母のすきなことは、歌と読むことと絵をかこうとだ。

⑩ 兄は太く角ばった岩を半分に切った。

⑭ 細長い紙に日記を書く当番だった。

⑩ あの里いものような雲にのって、家に帰りたい。

⑮ 強そうなモンスターが遠い谷で羽をひろげているでいた。

⑩ 池の近くの古寺に米と麦をおいた。